

2020年8月7日
 日本勤労者山岳連盟
 事務局長 川嶋高志

2021年度版 労山カレンダーの当選者が決まりました。

先般、労山事務所において小松由佳氏（フォトグラファー）による2021年度版・労山カレンダーの写真選考会が行われ、採用作品が決まりましたのでご案内いたします。

応募は昨年を大きく上回り37名の会員から210点の作品が寄せられました。ありがとうございました。

今年は労山創立60周年の記念の年ですが、コロナ禍により社会生活も大きな転換期になりました。また、カレンダーの体裁を一新したことによる意見を多くいただきました。

いただいた意見を参考に、来年はB4中綴じ28頁になります。写真のサイズが少し大きくなります。日付の数字も大きくしました。今回も名入れができませんが、地方連盟の連絡先はすべて掲載します。

作成費と送料が増加しますが、定価は1部1,000円（税込み）、地方連盟には1部700円（税込み）送料無料と地方連盟の負担は変更なしにします。ぜひ、多くの方にお勧めください。

おめでとうございます！

当選作品

採用	作品名と撮影地	撮影者	所属会名
表紙	イルカ岩と槍ヶ岳（燕岳）	宮沢 健二	十日町おだまき山の会/新潟
1月	烈風吹く厳冬期の富士山	江藤 幸夫	静岡勤労者山岳会/静岡
2月	頂への想い(福井・荒島岳)	金谷 與治	チャムラン山の会/石川
3月	陰影に刻むトレース (鳥海山 千蛇谷)	漆崎 隆之	十日町おだまき山の会/新潟
4月	立山 雷鳥	井上 正治	神楽坂アルパインクラブ/東京
5月	古道に咲くヤマツツジ (紀伊山地・護摩壇山)	出口 泰久	みちくさハイキングクラブ/和歌山
6月	真赤に染まるレンゲツツジ (長野・前鉢伏山)	海野 一彦	ナチュラルマウンテリングクラブ/静岡
7月	踊るチシマノキンバイとトムラウシ山 (北海道)	齋藤 健志	ちば山の会/千葉
8月	大きな山の片隅で(白馬岳)	林 弘幸	須磨勤労者山岳会/兵庫
9月	光る穂波(那須・茶臼岳)	岡 孝雄	プリムラ山の会/東京
10月	行く秋(福島・会津駒ヶ岳)	橋本 紀美子	太田ハイキングクラブ/群馬
11月	上州からの山脈(やまなみ) (群馬・武尊山)	石橋 和彦	野木山想会/栃木
12月	ライチョウとアマダブラム (ネパール)	富澤 士郎	毛ッ久里山の会/群馬

表紙 「イルカ岩と槍ヶ岳」 宮沢 健二



風化した花崗岩の奇岩。左端に大天井岳、右端に槍ヶ岳を配置した。光線、空の状態は良いが、絵はがきのだ。

1月 「烈風吹く厳冬期の富士山」

江藤 幸夫



帰りに行ける所まで登ってみようと出かけたが、強風で早々に退却。1月14日の雪煙舞う富士山です。

2月 「頂への想い」 金谷 與治



1523mの独立峰、厳冬期は強風でアルプス並の厳しさです。会山行で山頂に立てた時は全員で万歳した。

3月 「陰影に刻むトレース」 漆崎 隆之



ラッセルで樹林帯を越えると白い闇。俄にガスが切れ外輪が影を落とす。陰影に露となる干蛇谷の威容。

4月 「立山 雷鳥」 井上 正治



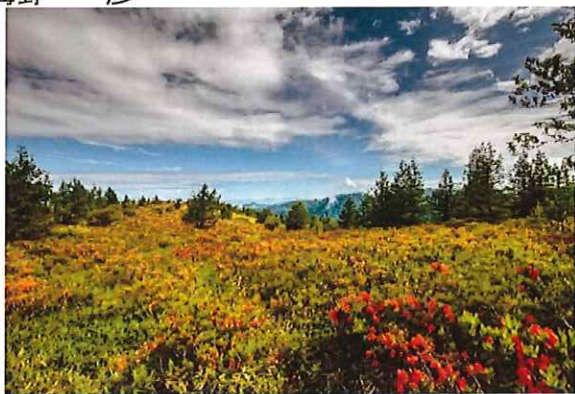
4月の立山は、雷鳥の繁殖期ですので、活発に動く雷鳥に出会えました。

5月 「古道に咲くヤマツツジ」 出口 泰久



龍神温泉と世界遺産・高野山を結ぶ古道の途中、「紀州の屋根」護摩壇山の快適な尾根に咲くヤマツツジ。

6月 「真赤に染まるレンゲツツジ」
海野 一彦



一面のレンゲツツジに驚きました。その見事な景色を独り占め、感激しながら撮りました。

7月 「踊るチシマノキンバイとトムラウシ山」
齋藤 健志



すでに五色岳の多くの花園は消失した。登山道の両側に咲くチシマノキンバイはこの先どうなるのか・・・。

8月 「大きな山の片隅で」 林 弘幸

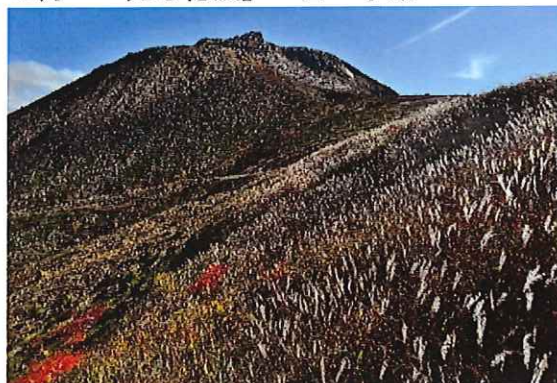


妻と行った久しぶりの夏山縦走。すっきりした空が一日続き、テント場は活気に満ちてにぎやかだった。

12月 「ライチョウとアマダブラム」 ⇒
富澤 士郎

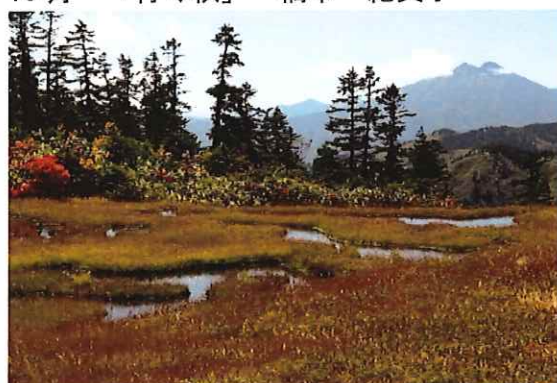
初めて見るネパールのライチョウ。後方の山、アマダブラムも歩くにつれて色々な形や表情を見せていました。

9月 「光る穂波」 岡 孝雄



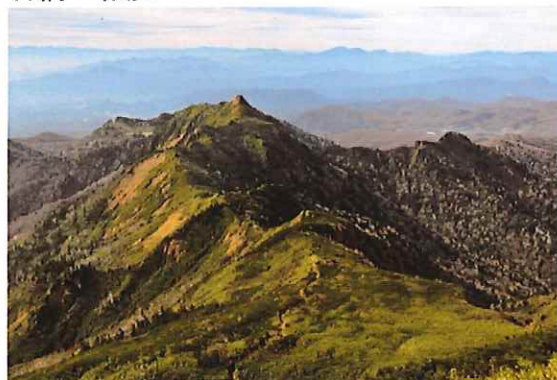
清秋の午後、強風に耐えて逆光に輝くコメススキ。命の逞しさを感じる。

10月 「行く秋」 橋本 紀美子



会津駒ヶ岳～三岩岳をラッセルして歩いた事が嘘のような秋の登山道。池塘の色どりと燧ヶ岳が似合っていた。

11月 「上州からの山脈（やまなみ）」
石橋 和彦



雄大で懐の深い上州武尊山からの更なる秋の山脈。

